

当初、会山行で青梅丘陵を計画していたものの、メンバーがそろわずに澤田さんと二人で歩くことに青梅丘陵は初心者ハイクにちょうどいいので残しておいて、今回は一部地図に載っていないルート歩くことになる「築瀬尾根」を選択
コロナ前に地元の友人と何度か歩いたことがあるルートで、一般的には「岨端沢(そばさわ)林道」に出て軍畑駅に下山するが、登山詳細図によると途中から沢井駅方面にも踏み後があるということと、WEBで検索するとさらに「櫛かんざし美術館」の駐車場上にも出られることがわかり、そこは以前に里山整備のボランティアで草刈りをした場所で地の利があるので、そこを目指して下山することに
築瀬尾根は、コロナ前は森林が伐採されて明るい尾根道だったが、その後放置ぎみのようで背よりも高いススキをかき分けて進むような道になっていた
送電線の鉄塔を超えて右に進むのが一般的で、そちらはじきに岨端沢林道に出るが、あえて左の尾根を下って362地点の手前で尾根が左右に分かれるところで左に(過去に右へ行って岨端沢に突き当たって戻ったことがあり)
最後は左の沢を超えて尾根を一つ越える踏み後にピンクテープが巻かれていたが、あえて直進して無事に櫛かんざし美術館の駐車場上に出ることができた(駐車場の左橋に降りられる階段があり)
下山後は、澤乃井園で「純米生原酒しぼりたて」を飲み、沢井駅から電車に乗って帰宅

